

## 私の生活の一部伝書鳩飼育第6弾

平成30年12月吉日



今回で6回目の掲載になりますが、鳥の名前はハル6号といいます。‘09年春レース800Kグランプリレース、埼玉連盟において総合7位の成績でした。全体の羽数は・・・で特に粘りとスピードが要求されるレースです。飼育者は日本最優秀鳩舎賞の対象レースになっている事もあって挙って参加します。800Kレースにもなると羽数もだいぶ減ります。放鳩地は北海道の白老というところから放鳩します。おおよそ11時間前後で帰還します。鳩レースの醍醐味は何と言っても津軽海峡を渡ってのレースです。私も17歳で津軽海峡を渡りましたと言っても飛んで渡ったわけではありませんよ。列車と連絡船で北海道へ半月かけて友達3人とで北海道一周の旅に行きましたよ。かなり破天荒の旅でした。今でも会うたびこの話がでますこの話は別の機会にしますが、津軽海峡は凄い海ですね。波は荒いし、風は強い、特に春レースで700K・800K・1000K・1100Kの時期ともなると4月～5月です。南風になりますから運良く北風の展開になれば鳥も楽に帰還できますから。したがって帰還率も高くなります。ひとたび南風の展開になると帰還率10%以下になるような過酷なレースです。このことで動物愛護団体から非難を受けている事も

聞いています。

話はハル 6 号に戻りますがこの鳥も前回掲載させて頂きました。 レジェンド M・U さんとの共同作出鳩です。 ♂方が M・U さんの 019・サンテンス系で私のビノア・フェルハイエ系です。

もともと両方のとび筋で 私の♀方は毎回毎回掲載させて頂いております鳥の筋が絡んでいます、(基礎鳩ビノア・フェルハイエ) 800Kレースの当日 M・A さん夫婦が見に来ていて帰還するところ確認していました。 わたしは稼業の弁当屋(日本亭弥十郎店)の工作中で見てはいません。ところが当の M・U さん「あんな鳥(ハル 6 号のこと)俺の筋じゃ ねーよ」なんて言いました 間違いなく「M・U さんの鳥と私の鳥の配合ですよ」といったら、ちよつとむつとしていましたね。 まだ M・U さんの性格を述べていませんでしたが 鳩に関しては多分天才だと思いますが 性格はかなり変わりものです。鳩の繋がりでの知り合いは大勢いますが こと私生活においては余り付合う人がいなかったと思います、近寄りがたい人とも言えますが 並の人間じゃあありませんから。ハル 6 号の帰還時に少し鳥の見映えが悪かったのでしょうか、飛んできた時の様子とその飛び方から見て プライドの高い M・U さんですから、「俺の筋じゃ ねえ」と言ったのではないと思います その後も納得がいかないようでしたけれど時間がたつにつれ段々で見映えも良くなりましたが M・U さんとの交流がなりましたので鳥を見てもらえませんか。 これまた残念でなりません。笑い。。。。。

M・U さんも奥さんもまた息子さん方もみんな良い人たちです、鳩の事となると M・U さんは「異常に変身するものだ」と改めて思いましたね またお会いできるのを楽しみにしております。